



東京 PCB 廃棄物処理事業だより (No.73)

東京 PCB 廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での令和 5 年 1 月～3 月の処理実績は下表のとおりです。

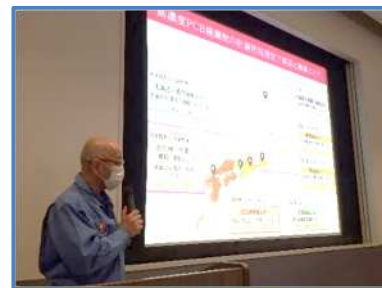
廃棄物の種類	1 月 ～ 3 月 処理完了台数	操業開始からの 処理完了台数の累計
トランス類	0 台	3,799 台
コンデンサ類	167 台	85,125 台

*低濃度 PCB 廃棄物については、平成 25 年 6 月に処理を完了いたしました。

令和 5 年度事業所方針

4 月 3 日、年度初めにあって、JESCO 東京 PCB 処理事業所・田中所長から JESCO 社員と運転会社の東京環境オペレーション(株)社員に令和 5 年度事業所方針について訓示を行いました(内容は以下の通り)。

令和 4 年度に計画的処理完了期限が安定操業を維持し確実な処理を進め終了した。令和 5 年度からは、事業終了準備期間となり、事業終了に向けて様々な変化が見込まれるが、全てにおいて「安全」を最優先に取り組むこと、施設の維持保全計画に基づき設備の健全性を維持し、発覚される処理対象物を計画的かつ確実に処理し「PCB 廃棄物の早期処理完遂」を目指すこと、更に、その先にある次の大きな目標として「施設内の高濃度 PCB を無くす」ことへの取り組みを全員で確認し実現することを誓いました。



事業所方針所長訓示

令和 5 年度 JESCO 東京 PCB 処理事業所方針

1. 安全・確実な操業体制を確保し、信頼される操業を維持する。
2. 事業終了準備期間に発覚する処理対象物を計画的かつ確実な処理を推進する。
3. 工程内処理残渣及び運転廃棄物の保管量を低減する。
4. 施設の維持保全計画に基づく設備保全により、設備の健全性の維持に努める。
5. 解体撤去に向けて、操業中から実施する準備作業の検討・実施に努める。

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 東京 PCB 処理事業部会を開催しました

3 月 9 日、JESCO 本社を会場とし、会場および Web 参加にて 2022 年度第 3 回東京 PCB 処理事業部会(主査：永田勝也 早稲田大学名誉教授)を開催しました。



東京事業部会

部会の概要は以下のとおりです。

議題 1 として、東京 PCB 処理事業所 2022 年度下期の操業状況

議題 2 として、東京 PCB 処理事業所今後の処理見通し

議題 3 として、「本格解体撤去工事完了までの施設の維持保全計画」の策定

議題 4 として、2022 年度の設備保全実施項目と 2023 年度の設備保全予定項目

議題 5 として、2022 年度内部技術評価の結果報告と所見への対応

議題 6 として、リン含有 PCB 油前処理設備の先行解体に関する文書(以下参照)の策定

- 1) 「リン含有 PCB 油前処理設備の洗浄等報告書」
- 2) 「リン含有 PCB 油前処理設備の PCB 付着状況調査結果報告書」
- 3) 「リン含有 PCB 油前処理設備の PCB 除去分別計画書」

議題7として、安定器等処理設備予備洗浄装置の先行解体に関する文書(以下参照)の策定

- 1)「安定器等処理設備予備洗浄装置の洗浄等計画書」
- 2)「安定器等処理設備予備洗浄装置のPCB 付着状況調査計画書」

議題8として、2023年度 東京 PCB 処理事業部会の開催時期・議題 等について説明しました。
今後も各委員からご指導を頂き、引き続き安全・確実な処理を行ってまいります。

東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会を開催しました

3月30日、ホテルイースト21東京を会場とし、会場およびWeb参加にて第48回東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会(委員長:森口祐一 国立環境研究所理事)を開催しました。



環境安全委員会

委員会の概要は以下のとおりです。

議題1として、東京PCB処理事業所2022年度の処理・設備保全の状況及び今後の処理見通し

議題2として、東京PCB処理事業所PCB廃棄物処理施設の解体撤去の進捗状況等について報告しました。

会議では、事業終了に向けた今後の処理について、ご意見・ご助言をいただきました。

いただいた貴重なご意見・ご助言等を施設の運営・管理に反映し、引き続き安全・確実な処理を行ってまいります。

※環境安全委員会は公開にて開催しており、当日配布資料は当社ホームページでご覧いただけます。

https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/environment/pla_45_00016.html

PCB 処理施設解体撤去情報

当事業所では3月末にPCB廃棄物の計画的処理完了期限を迎え、本年度より事業終了準備期間に入り、令和8年度から始まるプラント設備の本格解体撤去に向けて、準備を進めています。

昨年度までにリン含有PCB油の処理を完了し、「リン含有PCB油前処理設備」については不要設備になったことから先行解体を予定しています。

同設備の高濃度PCB付着箇所を低濃度PCB以下まで低減させる除去分別の準備作業として、4月より設備の保温材の撤去作業を実施しています。

6月以降に、最初に配管等を取り外して、洗浄設備等によって除去分別を実施します。その後、タンク類の除去分別を行い、令和5年度中に解体撤去を完了する予定です。

解体撤去に関する情報につきましては、本事業だよりで定期的にお知らせするとともに、当社ホームページでも随時ご覧いただけるよう準備してまいります。



保温材撤去前のタンク

第4四半期(1月-3月)施設見学状況

1月から3月までの間に、企業等4団体50名に施設見学にお越しいただきました。

	1月	2月	3月	計
団体数	1団体	1団体	2団体	4団体
見学者数	7名	11名	32名	50名



★「事業だより」は過去の掲載分も含め以下のJESCOホームページからご覧頂けます。

<https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/about.html>



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所

〒135-0066 東京都江東区海の森二丁目2番66号

TEL03-3599-6023

<https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>